

openSUSE.Asia Summit 2017 Japan

Call for Sponsors

openSUSE.Asia Summit 実行委員会



openSUSE とは

openSUSE プロジェクトとは、あらゆる場所でのLinux の利用を目指す世界的な取り組みです。openSUSE は、世界的なフリー/オープンソースソフトウェアコミュニティの一部として、オープンに、透明に、友好的に協力し合い、世界最高のLinux ディストリビューションの一つを創っています。

プロジェクトはそのコミュニティによって管理されており、テスター、ライター、翻訳者、ユーザビリティの専門家、アーティスト、Ambassador、開発者など、個人々人からの貢献により成り立っています。プロジェクトでは、多種多様なテクノロジー、そして様々なレベルの専門技術を持ち、様々な言語を話し、様々な文化的背景を持つ人々を受け入れています。

<https://ja.opensuse.org/Portal:Project>





openSUSE.Asia Summit とは

アジア地域の openSUSE ユーザー、開発者を集めるイベントです。2014年に第1回が開催され、以降毎年開催されています。中国、台湾、インド、インドネシア、日本、およびドイツから参加者が集まり、openSUSE やその他の OSS に関する技術的な内容や、それぞれの地域での活動についての発表が行われます。

Asia Summit は普段はオンラインで協力して活動しているコミュニティが実際に会って交流する貴重な機会です。各地域で率先して活動しているメンバーが集まることで、開催国でのコミュニティを一層盛り上げ、コミュニティへのより深い関わりを促すことも目指しています。



開催概要

- 開催日時: 10月21日(土)・22日(日) 2日間開催
- 会場: 電気通信大学(東京都調布市)
- 参加者: 120名
 - openSUSE のコミュニティ
 - 海外(中国、台湾、インドネシア、インド、ドイツなど) 20名程度
※ スポンサー様のご協力により予算が増えればより多くのアジアの若手技術者を招聘できます。
 - OSS 全般に興味のあるソフトウェア技術者
 - オンラインサービス、SI、メーカーなど
 - 学生ボランティア
- セッション数
 - 口頭発表30程度(Long: 30分, Short 15分)、ワークショップ5程度(併設イベントを含む)



これまでの openSUSE.Asia Summit

2014年 10/17～10/18 中国 北京航空航天大学
(参加者約150)

2015年 12/4 ～12/6 台湾 台北教育大学
(参加者: 事前登録者49人、約100人)

2016年 9/30～10/2 インドネシア Islam Negeri Sunan Kalijaga 大学
(参加者: 約500人)



openSUSE.Asia Summit 2017 の目的

- アジア地域の openSUSE コミュニティの情熱を日本に持ち込むことで、openSUSE への注目を高め、コミュニティの発展を目指します。
- アジア地域で活動する openSUSE コミュニティメンバーの活動範囲を、それぞれの地域から、アジア地域、そして世界へと広げる機会を作ります。
- より多くの地域から参加者を集め、地域を限定しない、真の意味での openSUSE.Asia Summit (アジア/グローバルなサミット)を目指します。



openSUSE.Asia Summit プログラム構成

- 口頭発表(30分、15分)
- ワークショップ(2時間)
- 最大4トラック同時進行



発表トピックス

- openSUSE
 - Open Build Service, OpenQA
YaST
 - Linux kernel, File system, ...
 - Virtualization and container
 - Embedded and IoT
 - Other software running on openSUSE
- FLOSS Security
 - Access/Integrity control
(e.g., AppArmor, IMA, Audit)
 - Cryptography
 - Vulnerability management
- LibreOffice
 - Writer, Calc, Impress, ...
 - Open Document Format
- Linux Desktop
 - Desktop environments and applications
 - Graphics and multimedia
 - Multilingualization support
(e.g., Input methods)

ご参考 Call for Proposals:
<https://news.opensuse.org/2017/07/07/opensuse-asia-summit-2017-tokyo-call-for-proposal-s-is-open/>



openSUSE.Asia Summit の特徴

- 開催地のコミュニティの発展を目指し、参加の障壁を下げるため、現地語(日本語)で発表が可能
 - ただし、発表資料は英語にすることが強く推奨されています
- 海外から発表者を集める旅費補助制度
 - openSUSE Travel Support Program により、参加者の旅費を最大 8割サポート



Call for Sponsors (基本プラン)

※Silver 以下につきましては、会場の状況次第でブースを用意させていただきます。

	Platinum	Gold	Silver	Bronze
協賛金	お問い合わせ下さい	500,000 JPY	200,000 JPY	100,000 JPY
基調講演	○			
講演	○	○		
ブース(机1台程度～)	○	○	※	
参加者全員へのパンフレット配布	○	○	○	
ウェブサイト、パンフレットへのロゴの掲載	○	○	○	○



Call for Sponsors (その他)

- Tシャツ
 - 事前登録者全員(120名)
 - 発表者・スタッフ(40名)
- 懇親会
 - ビール、寿司など
- ランチ
 - 1日、または両日
- コーヒー
 - 1日、または両日
- 旅費補助
 - 交通費、宿泊費
- その他

これ以外のスポンサー方法についても可能です。ご希望がありましたら、いつでも、お気軽にご連絡下さい。調整致します。



スポンサーの利点

- 国内外の技術力の高いソフトウェアエンジニアとつながり、製品やサービスの紹介をすることができます
- 優秀な学生にアピールでき、採用活動も可能です



スポンサーのポイント

- openSUSE.Asia Summit ウェブサイトでの宣伝
<https://events.opensuse.org/conference/summitasia17>
- イベント向けの各種印刷物を通しての宣伝
- カンファレンスバッグへの配布物などの同梱
- イベント会場で目につく場所での宣伝
- openSUSE.Asia Summit の告知を行うその他のイベントでの露出
- ご要望に応じ、ブースの設置(スポンサーレベルによる)



お問い合わせ先

openSUSE.Asia Summit 2017 のスポンサーにご興味がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい

羽鳥 健太郎

橋本 和也

opensuse-asia-17-contact@googlegroups.com



Template

Richard Brown (rbrown@opensuse.org)

CC-BY-SA 4.0

Design & Inspiration

openSUSE Design Team

<http://opensuse.github.io/branding-guidelines/>

